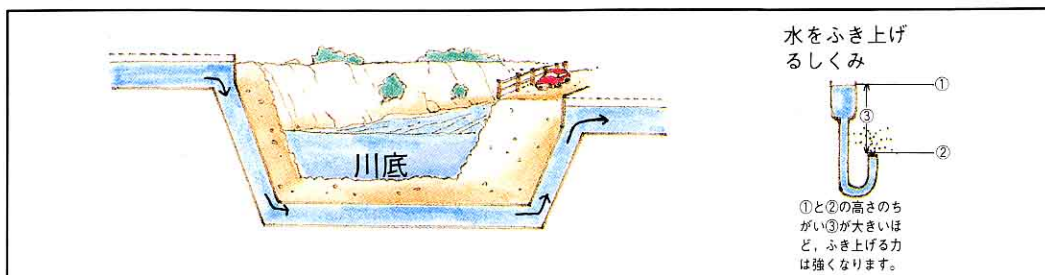


## サイフォンのしくみ



ながせがわ  
長瀬川ぜきの水を利用する広さは、およそ 844 ヘクタールです。

のやしんくろう  
野矢新九郎の命をかけたはたらきがなかったら、今の猪苗代東部の水田地たいは、見られなかったといってもよいでしょう。

### (3) かみやましも 上山下ぜき

今から 340 年ほど前、ながさか しらきじょう (今のみつやふきん) など、しん  
でんかいほつ  
田開発がさかんに行われていましたが、水不足になやまされていました。

このせきは、当時のせきもりであったこびやまはんないが各村と協力し、りょう  
しゅ  
主にねがい出てゆるしをとり、1653 年から 1660 年の 8 年をかけてかんせい  
させたすいろ  
水路です。

沼ノ倉付近



分水流 (東谷地)



取り入れ口は、土田ぜきの取り入れ口からおよそ 1250 メートル下流  
にあり、しおたに ぬまのくら ふなば いまいずみ ひがしや じ にしだて  
長坂・三ツ屋・渋谷・沼ノ倉・船場・今泉・東谷地・西館・  
かただ  
堅田などをへて、猪苗代湖へ流れるおよそ 12 キロメートルのせきです。

このせきの水を利用している広さは、およそ 567 ヘクタールです。